

第436回 番組審議会

1. 日 時 平成20年10月21日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 13名

出席委員 8名

出席委員	委員長	橋田 純一
	副委員長	帷子 利明
	委員	佐藤 晴久
	委員	上野 克幸
	委員	清野 雅子
	委員	森本 雅司
	委員	千葉 幸長
	委員	望月 善次

欠席委員	委員	西郷 喜代子
	委員	嶋村 正
	委員	宮 勉
	委員	安藤 茂
	委員	中井 雅彦

社側出席者	矢後 勝洋 (代表取締役社長)
	石井 修平 (専務取締役)
	阿部 孝夫 (常務取締役)
	高橋 甫和 (取締役技術局長)
	千葉 正範 (取締役営業局長)
	淵沢 行則 (制作局長)
	鈴木 直志 (報道局専任局長)

事務局	青山 尚之 (編成局長)
	高橋なおみ (編成局編成部主任)

4. 議 題

1. 「短歌甲子園 2008」

9月6日(土) 午後4時25分～55分放送

(BS日テレ 9月21日(日) 午後1時～1時30分放送)

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・視聴者からのご意見
- ・BPO報告
- ・タイムテーブル

6. 議事の概要

社側説明

本日の番組審議会の議題「短歌甲子園 2008」は、テレビ岩手で9月6日(土) 午後4時25分～55分、BS日テレで9月21日(日) 午後1時～1時30分放送したものです。審議をお願いします。

委員側意見

全体的な印象は、良く纏まった番組で、今後とも恒例の放送を期待したい内容でした。主人公である高校生が短歌と向き合っている時の葛藤の様子、それでいてどこかリラックスしている現代っ子の表情が、さわやかに映し出されていたのではないのでしょうか。映像では、いつも見慣れている街並みや映像ですが、渋民の北上川から仰いだ岩手山、上の橋や啄木の家など、情緒的な城下町の盛岡の風景が美しく表現されていたと思います。全体的に見ますと、学校関係者や高校生に十分普及のインパクトを与えたのではないかと評価いたします。大会の運営にボランティアが活躍しておりますので、そういうところも取り上げて全体で運営していることを少し紹介してもらえば良かったと思います。また、初回に比べた3回目の充実ぶりを簡単に紹介してもらえれば、さらに大会に深みが出たと思います。盛岡発の「短歌甲子園」が全国高校生の憧れの大会に発展することを願います。

社 側 いろいろご意見ありがとうございました。この番組は盛岡市が「短歌甲子園」を出来るだけ広く広報したいという意図で作られた番組です。全体的に淡々と進んで盛り上がりに欠けるというご指摘がありましたけれど、大会全体がそのような調子で進められております。同じような催しで松山の俳句甲子園がありますが、ニュースなどを見ますと、ガッツポーズをしていたり、泣いたり感情的な盛り上がりが見え、その中味を見ると、お互いに作品を紹介した後にディベートをすることにより、感情移入して盛

り上がるという演出をかけているようです。大会の推移ですが、当初 8 校程度でしたが、今年是全国 36 校 39 チームが参加しました。裏方のボランティアの運営もご指摘がございましたが、この大会をテレビで取り上げるのは初めてでしたので、ルール説明だけでも大分時間を取ってしまいまして、高校生の司会者を紹介することで手一杯でした。来年は余裕があれば紹介していきたいと思います。作品自体をゆっくり紹介することが出来なかったという反省はあります。来年以降は字幕も長く、時間を取りたいと思っております。全体的に取材して思ったのは、参加した生徒さん達は、短歌を専門にやっているわけではなく、だいたい文芸部に所属して、普段は短い文書を書いたりしております。短歌の経験はほとんどない生徒さんたちですが、感性が豊かで、瞬発力で非常に良い作品が作っておられるという印象は持ちました。

7. 審議内容

別載のとおり

8. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

9. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

(平成 20 年 10 月 28 日(火)午前 11 時 45 分～11 時 52 分放送) で、審議の概要を放送。

- ・支社・支局に議事録を設置
- ・当社のインターネットのホームページで議事録を公開。